

ふれあいと語らいの同窓会



東実同窓会報

NO.6

発行 〒144 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL.03-3732-4481

東京実業高校同窓会編集委員会

「東実根性」

同窓会会長 39期卒 **黒田 芳彦**



新年明けましておめでとう御座います。

昨年は大変な猛暑と水不足で、また、経済的にもこれまた記録的な円高等の影響で多くの中小企業では大変きびしい時代となっております。

同窓会会員の皆様には、このきびしい時、いかがお過ごしでしょうか。おそらく持ち前の東実魂で、この難局を乗り越えてご活躍をしていると思います。

また、学校におかれては高校入学予定者の減少をかかえ、むずかしい時期を迎えておりますが、上野毅校長のご立派なリーダーシップのもと、確実にますます質の高い高校へと躍進していることと確信しております。

さて私は昨年の総会にて新会長になりましたばかりの新米で御座います。

昭和39年東実の機械科を卒業し、大手エンジニアリング会社に就職いたしました。会社に行きながら東実専門学校にかよい、昭和42年に卒業。専門学校に通学しているころの夢を実現したく、2年後の昭和44年、23歳で機械設計事務所を設立しました。

現在は35名の社員規模で、機械、プラント、CADソフト及びCAD入力業務、電子機器の設計業務を行っております。

また、社員の中に10数名の東実卒業生があり、仲良く業務にはげんでおります。まだまだ未熟者ゆえ先輩諸兄には格別の御指導、御後援を賜りますようお願いいたします。

現在同窓生の数も26,500人以上の昨今、いかに同窓会と学校、また、諸先輩の同窓生と若い同窓生とのパイプ役として微力ではございますが、役立ちたいと思っております。尚、同窓会では年に数回の親睦に関する総会、旅行、新年会懇親会等を企画、運営実行しております。どうぞ振るってご参加下さる様お願いいたします。

最後になりましたが、東京実業高校のますますのご発展と同窓会会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



同窓生の皆様との 交流懇親旅行

理事長 上野 雅子



毎年一回、9月の始めの土曜日に同窓生の方々との交流を深めるために、一泊旅行を幹事の方が計画し、楽しい時を過ごしております。私が皆様のお仲間に入れていただいて何年かが過ぎておりますが、いつも楽しい企画をみごとに計画されて、感心いたしております。

年齢層は上は70才過ぎの方々から、下は30才台までと幅広く、男性は勿論、女性の参加も近年多くなり、年の差などは忘れて童心に返ったように無邪気にはしゃぎ、歌い踊り食べ飲みと、その活力の旺盛さに圧倒されるばかりです。私などは日頃の生活が今だに娘(高3)の学校時間に合せた生活ですから、朝早く起き、お弁当を作り、夜はもう11時には寝ているというくり返しですので、10時を過ぎますともう目ぶたがふさがってしまうのですが、皆様は夜が更ければ更ける程、お元気になられるようで、この一泊旅行では徹夜組も何名かおられるようです。

さて今年の旅行の方は、9月2日に山梨トロン温泉という所でした。朝早く東実の校門前に集合でしたので、楽しそうにはしゃいでいる大人の集団の中を生徒や先生達が何事かというような顔で通ってゆきました。全員集

合の後バスに乗って出発。車が走り出すやいなや、もうバスの中は楽しい笑い声で一杯になります。すでにビールの缶がくばられ、飲み始めておりますのでそのにぎやかな事といったらありません。しばらく渋滞の道を走り、やつとの事で高速道路に乗りますと、2、3名の男性から「トイレ！」の声。「ビニール袋があるよ！」と別の声。旅の始めからこれですから、宿に着いた頃にはもう大分酩酊の方もいらして、笑い声が絶えないのです。夜の宴会などはもう興奮も絶頂となり、歌あり、踊りありと皆様の多才ぶりに目をみはるばかりです。これも豊かで平和な日本に生れてこれたおかげとその幸せをかみしめ感謝した事でした。また、中には地球汚染の問題に真剣に取り組み、汚れた川をきれいにし、川に魚がもどってきた事を目を輝せてお話下さった同窓生もいらして、わずカー泊の短かい時ではありますが、こういう懇親旅行を通して、すばらしい方々との出会いがある事は、私の喜びとする所です。時は流れ、人は変わっても、常にすてきな方々との出会いを楽しみに、出来る限りこの旅行が続けられますようお願いしてやみません。



小学校同期の笑顔

第17期 顧問 村松 浜代



10年程前に小学校時代の友人から、小学校の同期会の案内状を頂きました、小学校を卒業してから始めてのことでした、その小学校は蒲田小学校です。

私共の青春は戦争の時代だったので満州事変、支那事変、大東亜戦争そして第2次世界大戦と戦禍は拡大して行きました。私は昭和12年に小学校を卒業し東京実業学校に入学、昭和16年12月に大東亜戦争の為に繰上卒業、昭和17年3月に明治学院高等商業部に入学、昭和19年9月に一応繰上卒業したものと見做され、海軍飛行科予備学生を志願し、合格入隊しました。そのような時代の背景で蒲田の街も昭和20年4月10日の米軍の空襲で、蒲田駅のブラットホームから羽田のお稲荷さまの鳥居が見えたほど全く焼け野原と化してしまいました、蒲田に住んでいた人々は皆家を焼かれ、各々の親戚、知人を訪ねてチリチリとなり、行くあての無い人達は焼け跡にホツタテ小屋を建てて住んでいたのです。私共の年齢の若者は身体に相当の故障のないかぎりは徴兵され軍隊に入隊しました。特に蒲田地区の私の小学校の同期の人々は、繰上げ徴兵検査の結果、満州の牡丹江の方へ入隊し、さらに沖縄作戦に参加し不運にも戦死された方が多かったと同っております。私はどの道生きては戻れないものと覚悟をしていましたので、どうせ戦死をするのなら、飛行機乗りになって敵戦艦に体当たりをして木端微塵になって死にたいと考え海軍予備学生飛行科を志願したのです。運命のいたずらと言いますが、運命の女神は私を救ってくれました、父の反対を押切って志願し入隊した私が戦後無事復員し、現役で入隊した友の多くが戦死或いは戦病死で亡くなり、小学校を卒業してから二度と逢えない人が沢山おられました。

私は父がサラリーマンだったので住居は何回か移転した関係からか親しい小学校の友人はおりませんでした。卒業して47年を経て同期会の案内状を頂いた時、どんな

友人に逢えるのが楽しみでした、そしてその当日になりましたが運悪く業界の用事ができて、同期会に出席はしたものの約30分程しか在席できず、お顔を見ると懐かしい先生が3名おられ、男子8名程度と女子20名程出席していました、その時は時間の余裕が無くすぐ退席致しましたがその後何年経っても同期会の召集の案内がありませんでした。そうこうしてあるうちに、同期会に出ておられた先生の中でお二人が亡くなられた噂を耳にしました、当時私の担任の先生だけは年賀状での文通がありましたのでご健在であることは承知しておりました、前回

同期会の案内状を下された友人の電話番号が判明しましたので、今年の3月頃でしたか、先生のご健在のうちに早く同期会を開催するように督促致しました。ご多忙なかた二回程催促したのですが連絡がありませんので、自分でやってやろうと決断し、その友人から古い名簿を頂いて早速同期の友人に同期会開催の案内状を出しました。案内状を受け取った皆様は差出人の私の顔を知っている人は多分3名程度

だだと思いますが、大変感激した添書を記入した返信を頂き、余計なことをしたかなと思いつつよかつたなあ/と自分を慰めました。その日は10月15日出大森東急インで11時30分集合としてありましたが、11時前から集まり、おじいさん8名、おばあさん11名、愚師1名(88才)の20名でしたが皆古稀以上の人達です、最初の中は顔も思い出せず、名前も判りませんでした。時間が経つに従って、小学校時代の童顔が今のハゲ、白髪、皺の中から思い出され、アツという間に4時間が経ってしまいました。

皆さんの楽しそうな顔、笑顔を見ているとよいことをしたとつくづく感じ、これからは毎年私が労を取って同期会を開催しようと心に決めました。東実の卒業生も各期毎に、同期の人々の住所を常に調べ年に1回は同期会を必ず開催することを提案します、それがお互いの為にもなり、学校の繁栄につながる原動力ともなります。



学校からのたより

東実この1年

—入学式・文化祭・
クラブ活動報告—

校内幹事 **細井 守英**



創立72年目の新入生

平成6年度の入学式が4月12日(火)に行なわれた。創立72年目の新入生たちとなる749名が式の開始を前に体育館に居並んでいる。

今年度から東京実業でも入学試験に推薦入試が取り入れられた。試験は一般試験1カ月前の1月17日(月)に実施された。試験は職業科志望の生徒が面接、普通科志望の生徒は面接と作文で合否が決定された。初年度となった今年の推薦入試には336名の出願者を迎えることとなった。また、2月18日(金)の一般入試にも1,500名以上の受験者を迎えた。受験者は「大学進学が希望なので東実の普通科を選びました。試験は思ったより難しかった」(普通科志望)、「学校が綺麗ですね。試験はまあまあできたと思います。東実は第二希望だけど、入学したら勉強と同時に柔道部かバスケット部でもがんばりたいです」(機械科志望)と感想をもらしていた。

以上2回の入学試験で合格を手にした749名(機械科249名、電気科116名、商業科304名、普通科80名)が体育館で入学式の開始を待つ。上野毅校長先生の「高校生としての自覚を忘れずに、これからの三年間をがんばってほしい」というお話、上野雅子理事長先生の祝辞、新入生代表の宣誓等々の式次第が進行していくにつれて新入生は東京実業高校生徒の一員となっていく。生徒同士の会話も中学校時代の友人間の会話から、教室でのホームルームが終わるころには新しい会話が生まれていた。



7名の東実代表ボルダーへ

昭和42年に始められたアメリカコロラド州ボルダー地区との交換留学生制度は現在でも続けられている。今年度は東実から7名の生徒が渡米した(伊藤慎太郎君(M3A)、宮崎肇君(E3B)、林大輔君(C3D)、内田善則君(M2C)、河原誠君(E2A)、長田拓君(E2B)、鈴木雅美君(O2A))。

一行は5月6日に成田を出発し、ボルダー地区のハイスクールや小学校などを訪れたり、ワシントンやニューヨーク、またグランドキャニオンを見学したりという日程を6月21日の帰国まで過ごした。この間はほとんどがホームステイをしてボルダーの高校生との交流を深めることとなった。アメリカ各地を見学する以上にホームステイが印象的だったようだ。

7名の生徒を引率された中野義久先生も、「ホームステイは私にとって大変有意義だった。言葉等の障害があるにも拘らず、意思の疎通のためにお互いが努力し、コミュニケーションを可能にする。このような喜びが感じられるホームステイの意義はとても大きい」と感想を述べられた。



「グランドキャニオンにて」

燃えた2つの“祭”

— 体 育 祭 —

2学期には大きな2つの“祭”が待っていた。体育祭と東実祭である。その成功のために生徒会役員や東実祭実行委員会では早くから準備を始めていた。

10月8日(土)、品川区大井陸上競技場。体育祭の当日には《あついぜ!!!》というスローガンのとおり、各生徒



たちが各自の持つエネルギーを熱く発揮していた。

競技は「これが青春だ」と称された100m×20人リレーの予選から伯仲していた。このレースでは各学年でタイム上位8クラスが決勝に進出できるのである。

競技は各学年の組体操と学年独自の競技（1年生一隊の丸焼き、2年生一騎馬リレー、3年生一帽子取りゲーム〈騎馬戦〉）、そして障害物リレーの「走れメロス」と各競技が毎年の中で定着してきた。

昨年までは昼食休憩後に応援合戦が設けられていたが今年からは各競技中の応援状況が審査されることになった。応援を受けての競技は続き、終盤に近付くとひとつひとつの結果は総合優勝にかかってくるため、選手も応援団員もよりいっそう力が入る。

最後は「色別リレー」。各隊の精鋭が競う。そこまでで1位は確定していた。ただ2位は、このレースの結果で決まってくる。

すべての競技が終了し、閉会式で各結果が発表された結局、総合優勝は黄色隊（商業科）、第2位は紫隊（普通科）、第3位は白隊（機械科）であった。また、応援の審査結果も同時に発表され、黄色隊が競技と応援の完全優勝を獲得することとなった。応援第2位は紫隊、第3位は青隊であった。

当日は土曜日ということもあって、観客スタンドには開会式の頃から父母の姿があり、午後からは中学生たちの姿も見え、スタンド席はいっぱいになり、入りきれない人もあったようだ。



—東 実 祭—

2学期の中間試験が終了すると、直ちに11月1日から始まる東実祭の準備が本格的になる。テーマは《無限の力》と1学期に決定している。今年は全体で42の団体が参加した。1週間前からは夜8時まで残って準備をする団体も現われた。

各団体とも準備万端。飲食関係は仕入れも完了した。初日の11月1日の記念式典では東実永年勤続の13名の先生方が表彰された。（勤続40年—小島浩先生、勤続30年—大岩守郎先生・久保 晟先生・大津健二郎先生、山口



敏雄先生・住吉恒雄先生・田中保弘先生、勤続20年—森吉男先生・鈴木光男先生・井上昭先生、勤続10年—小畑雅一先生・日比野重光先生・山下秀徳先生）。その後の弁論大会は今年で第5回目を迎える。今年は13名のクラス代表が熱弁を奮った。

2日の午後からは一般公開が開始される。小ホールで行なわれた第15回英語スピーチコンテストも東実祭の名物大会となった。2日は平日ではあったが、公開開始から多くの方々が来場した。同時にイベント広場では〈アームレスリング大会〉、〈早飲み大会〉、また一般の人も混じっての〈フリースロー大会〉等のイベントもオープンである。そしてこの日のメインとなるのは午後4時からの〈イブニングフェスティバル〉であったらう。音楽部による演奏で始まり、ピンゴゲーム、そしてイントロ当てクイズと続き、ブラスバンドの演奏でしめくくるまでの1時間30分は大いに盛り上がった。

翌3日はメインとなるはずであるが、空はあいにくの雨模様。イベントは広場でできるか。来場者が減り、盛り上がりには欠けるのではないが、その他各団体でも様々な危険が生じたが、それも無用の心配に終わった。入口のゲートは朝9時過ぎから多くの来場者を迎えた。午前中の朝市2回にわたって行なわれたバザーにも多くの人が訪れ2日間にとわたる来場者は昨年同様、3,000人を越え

る結果となった。—— 東 実 業 ——

今年も多く卒業生が姿を見せた。毎年、必ず姿を見せてくれる人、卒業後初めて母校を訪れた人と様々であるが、しかし、暫しの間、東京実業の生徒に一高校生に時を戻す実感を味わうことに違いはない。中には結婚して、夫人と一緒に職員室等で先生に声をかけられ、完全に東実生に戻る瞬間の方も見られた。あらゆる可能性の出発点である高校生活に戻ることは、その原点を再確認する上でも意義深い。職員室でも、この日の、この瞬間を楽しみにしている先生方は多くいるようである。

卒業生が可能性の原点を再確認するように、東実の各生徒たちは、文字どおり「無限の力」の発揮に挑戦している。はじめは〈無理〉という言葉だけしか脳裏にない者にとっても、クラスやクラブなどで一致協力のもとに努力することによって〈自信〉に近いものが少しでも生まれれば、それが「無限の力」の発揮の第一歩となる。そしてそれが将来にとって大きな可能性につながっていくことになるのである。そういう意味でも、このテーマはとても意義あるものである。

卒業生の方々に、久しく東実の祭りに再会されていない方は、ぜひとも来年度の「体育祭」と「東実祭」に訪れていただきたいと思う。後輩たちは、精一杯の力を発揮するべく、頑張ってるのだから。

クラブ活動

レスリング部 1学期に行なわれた関東大会には7名の生徒が予選を突破して出場した。そして鈴木謙太郎君(C3B)が第7位となった。また、9月の国体東京都予選では5名の生徒がフリースタイル、グレコローマンスタイルで第2位・第3位を獲得するなど、東実のレスリング部を顕著に表わす活躍を続けている。

柔道部 今年度東京都高校総体柔道支部大会兼全国高校柔道支部大会で団体戦第3位という成績をおさめ、さらに個人戦では95kg級の肥後誠君(C3A)が優勝を飾った。また、同東京都大会においても団体戦で東京都ベスト16に入る成果をおさめている。

テニス部 全日本選手権東京都予選大会では土田・斎藤組が東京都でベスト32になるほか、関東団体選手権予選大会でも東京都ベスト16をおさめ、東京都の中でも着実に成果を露出している。

バレーボール部 9月～10月に行なわれた第一支部大会では5回戦に進出し、結果として東京都でベスト32(支部ベスト8)となり、新人戦のシード権を獲得。また11月の新人大会支部予選でも東京都ベスト32となり、東京都大会への出場権も獲得した。

バスケットボール部 私中高協主催の支部大会では大森工業高・目黒高に勝利、日体荏原高との決勝戦にも出場し、第2位を獲得した。

ブラスバンド部 体育祭や東実祭、また地域の中学校にも演奏にでかけるなど忙しい活動を続ける中、11月の東京都大会にも優勝。関東大会へと進出し、今年度で11回連続の全国大会出場をめざしている。

平成6年度の主な学校行事

- 4月11日 始業式
- 12日 入学式
- 5月14～17日
 - 1年生 鍛練旅行
 - 2・3年生 映画鑑賞・社会見学
 - スポーツ大会・ハイキング
- 26日～30日 中間試験
- 30日 オートバイ実技安全講習会
- 6月8日 生徒総会
- 10日 開校記念日
- 25日 先生と生徒の懇談会
- 7月6日～9日 期末試験
- 10日～19日 普通科学習合宿
- 10日～13日 電気科ダム見学
- 20日 終業式
- 9月1日 始業式
- 2日～8日 午前中授業
- 5日 オートバイ実技安全講習会
- 10月8日 体育祭
- 18日～21日 中間試験
- 11月1日～3日 東実祭
- 16日 平成7年度生徒会役員選挙
- 27日 学校説明会(学校見学会)
- 30日～12月3日 2年生期末試験
- 12月4日 学校説明会(学校見学会)
- 4日～10日 2年生修学旅行(九州・4泊)
- 5日～8日 1・3年生期末試験
- 22日 終業式
- 1月9日 始業式
- 17日 平成7年度推薦入学試験
- 25日～28日 卒業試験
- 2月15日 平成7年度一般入学試験
- 3月3日 卒業式
- 4日～8日 学年末試験
- 9日～14日 スキー教室
- 20日 終業式

学校だより

商業科近況報告

商業科長 教諭 原田 忠彦



現在、商業科は1学年が6クラス、2学年4クラス、3学年5クラス、生徒770名が在籍しています。

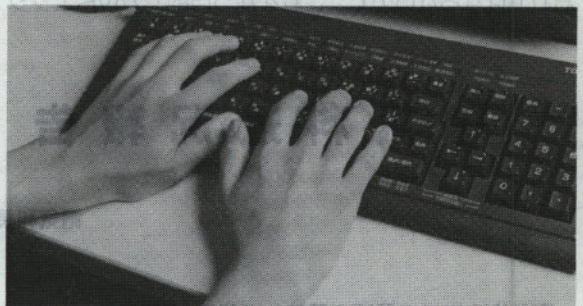
最近の動向をみると、大学進学希望者も増加してきています。

専門学校進学希望者を含めると、進学率は60%を越えており、就職希望者との逆転現象が顕著に現われてきています。

特に商業科としては、各種検定試験の合格率を高めるために取り組んでいます。

珠算の場合でいうと、日本商工会議所・全国珠算教育連盟の検定を受験させ、3級以上の合格者を多数出しています。簿記の場合でも、日本商工会議所・全国商業高等学校協会・全国経理学校協会の検定を受験させており、1級合格者も含め、こちらも沢山の合格者を出していま

さらに、情報処理検定・ワープロ検定・英語検定にと生徒自身の適性を考え、将来の実業人としての自覚・積極性が出るよう、生徒・教師一丸となって取り組んでいます。



機械科近況報告

機械科長教諭 久保 晟



今日の科学技術の進歩と経済の発展は、豊かさを生むとともに、社会の変化(情報化、国際化、価値観の多様化など)や急速な技術革新の進展をもたらしてきた。特にエレクトロニクス技術、サービス経済化の進展は、我が国の産業構造、就業構造の変化に大きな影響を与えているばかりでなく、職業高校のカリキュラムにも大きな変化が生じている。この程文部省は学習指導要領の改定を行い、平成6年度より実施した。特に工業教育に於ける改善は最も大幅であり次の4項目の内容になっている。

- ①エレクトロニクス、管理技術、システム技術及新素材に関する教育の導入。
- ②情報化の進展への対応～情報に関する教育の充実を図るため「情報技術基礎」の新設。
- ③生徒の自発的、創造的な学習態度や問題解決能力を養うため「課題研究」の新設。
- ④実験・実習等に於ける体験的学習の重視。

以上の改善内容をふまえて、本校機械科に於ても教科課

程の改善を図るとともに、大幅な施設・設備の導入と、内容の充実につとめてきた。

- ☆エレクトロニクス技術への対応について
 - ①産業界のFA化など先端技術に対応した実習としてNC、MCによるプログラミング及切削加工に加え、ワイヤ放電加工機の導入、コンピュータ制御など加工プログラミングの基礎を実際的に理解する。
 - ②メカトロ教育への導入として、入学時よりポケコンを購入し、身近にコンピュータとのふれあいができるように配慮し、BASIC言語やプログラミング技術及操作など工業基礎として学習する。又これら目的達成のためマルチマシン(電子模型～2モータカー)やインターフェイスの製作(ハンダ付技術)を通して体験的に学習する。又パソコン実習については2、3年で学習し、ポケコンによる操作をベースにダイレクトモードでの計算技術の演習、BASIC言語及C言語によるプログラミング、さらにコン

ピュータグラフィックの基礎、ワープロや表計算の学習を行う。又制御プログラミングの基礎としてロボット制御実習及産業用ロボットの基礎的な知識を学習する。

③製図教育の充実と、社会のニーズに答えるため、CADシステムの導入を図り、ひいては新設の「課題研究」取り組みへの布石として充実させたい。又、実務用CAMソフトを使い、コンピュータとマシニングセンタを通信回線で接続しCAD/CAMシステムへの発展させたいと考えている。

以上が現在本校機械科に於けるエレクトロニクス技術への対応の一端を紹介いたしました。一方では、手作業によるもの作りや、旋盤及フライス加工技術の修得など忘れてはならないので、これを補う目的でカットエンジ

ンの製作や、来年度からはスターリングエンジンの製作にも意欲を燃している。

今後本校機械科の教育が「工業技術の諸問題を、主体的、合理的に解決し、工業の発展を図る能力と実践的態度を育てる」という目標に少しでも到達できるようスタッフ一同努力していくつもりである。



電気科近況報告

電気科長 教諭 **横幕正一**



卒業生の皆様に最近の電気科の様子をご紹介します。まず、これからの男子高校が大きく変わって行くことの一つをご紹介します。

男子校の東実でも「家庭科」という教科を導入をして料理、裁縫をできるようにと変わろうとしています。この話を聞いた卒業生の皆さんは驚いていることだと思います。

電気科でも「課題研究」という教科を導入し、生徒本人がテーマを選ぶようにし、一人一人に工作の喜びや人に負けない特技を身に付けさせようとしています。このように学校は変わろうとしています。

また、国家試験である第二種電気工事士に合格して欲しいと、放課後には講習会を行うなどの努力をしています。平成になってからは、クラスで13名ぐらいの生徒が取得して卒業しています。在学中には、この工事士に関する思い出を持っている方もたくさんいらっしゃると思います。

ところで、皆さんの会社ではパブル破壊の影響は無いでしょうか。東実は昨年までは影響もなく多くの企業さんから求人頂きましたが、今年は急に減少し、厳しい状況になっております。

このように、学校も時代の流れに対応していきますのでご協力を期待します。

3年間を一サークルとして考え、その中でいかに有効に合格への道程を歩ませていくかが、教師の力だと思



ます。普通科の先生方はその道のプロフェッショナルとして、このような計画に基づき、3年間の生徒の実力の養成を図っています。

空調設備・電気設備

有限会社 シタマ設備

代表取締役社長 **舌間寛佳** (昭41・M卒)

〒233 横浜市港南区丸山台3-30-2
 TEL. (045) 845-7355
 FAX. (045) 845-2060

普通科近況報告

普通科長 教諭 北井邦寿



昨年度(平成6年度)の全国の大学への受験者数は約110万人でした。ピークは過ぎたとはいっても、かなりの数になります。このうち進学できるのは、約30%です。“受験戦争”という言葉の意味が数値の上から理解できます。普通科は、この受験戦争に勝ち、合格という栄冠を手にすることが大きな目標になっています。

そこで普通科は、三年間を二つに分けて考えています。一つ目を基礎学習の期間、二つ目を発展学習の期間としています。

基礎学習は1、2年です。徹底的に教科書の内容を理解させます。もちろん、授業だけでは理解の程度が浅いものになりますから、予習、復習を訴えかけていきます。

その徹底のために、進学講演会を開催します。進学情報専門として旺文社の方が来校し、約1時間30分、前年度の受験状況、今後の見通し、学習の方法(予習・復習の大切さ)などを講演していただきます。今年6月には、普通科、他科の生徒、父兄300人強が参加しました。また、毎年7月10日から19日まで1年4泊5日、2年5泊6日の学習合宿を開催しています。場所は静岡県御殿場市にある自動車労連教育センターです。1日8時間の学習で、特に夏休みに向けての学習生活習慣の確立を目標にしています。1年生にとっては初めての体験、2年生にとっては2回目になりますが、生徒に大きな変化を

もたらしているようです。その他、夏休み後半の夏期講習会、冬期講習会、春期講習会を開催します。

発展学習は3年です、実践的な学習をしていきます。理解できないところは補習で補います。このころから、1・2年に培ってきた予習・復習の効果がではじめてきます。夏休みなどの長期休暇を上手に利用した生徒は、その実力を如実に現してきます。



“兄弟校の紹介”

上野塾 東京高等学校



明治5年(1872)上野清によって上野塾を開き数学を教授する。

明治23年(1890)神田に移り東京数学院を開校する。

明治28年(1895)麩町に東京航海学校設立。

明治32年(1899)東京数学院尋常中学を東京中学校と改称する。

昭和23年(1948)新学制による東京中学校、東京高等学校発足。

昭和46年(1971)創立百年祭を行ない、男女共学制とする。

◎校長：田沼道雄 ◎所在地：大田区鵜の木2-39-1 (電話 03-3750-2635) ◎在校生 1,616名

南光学園 東北高等学校



明治27年(1894)上野清によって設立された仙台数学院が前身。門弟五十嵐豊吉によってその後、東北中学校となり、現在の南光学園東北高等学校(普通科・商業科)として発展している。

◎校長：五十嵐迪雄 ◎所在地：宮城県仙台市青葉区小松島4-3-1 (電話 022-234-6361)

◎在校生 2,500名



学校だより

吉 野 実 業 高 校

平成6年度教職員構成表

◎専任教諭 (63名)

上野 毅	機械	学校長
嘉戸 直民	電気	副校長
小島 浩	商業	
志賀 秀春	国語	
平田 文雄	商業	
遠藤 幸喜	体育	
宮武 茂樹	機械	
西沢 和央	体育	
佐藤 節夫	電気	教務部長
田中 保弘	英語	
久保 晟	機械	機械科長
山口 敏雄	商業	2学年・学年主任
大岩 守郎	社会	進路部長
大津健二郎	数学	
住吉 恒雄	商業	
尾藤 勇	社会	1学年・学年主任
小牟田清一	英語	
菊地 克己	社会	厚生部長
青木 英二	数学	
工藤都志男	体育	3学年・学年主任
中野 義久	数学	生徒部長
三山 弘	理科	
疋田 伸汎	数学	
須貝 茂	数学	
金子 健一	機械	
横幕 正一	電気	電気科長
鈴木 政広	数学	
栗原 宜雄	機械	
千田 一雄	機械	
河野 年光	機械	
鈴木 光男	英語	
小椋 幸江	電気	
森 吉男	理科	
北井 邦寿	国語	普通科長
井上 昭	体育	
小野 博司	社会	
志賀 由直	国語	
有田 幹雄	商業	
浅賀 英雄	体育	
関根 章道	数学	
原田 忠彦	商業	商業科長

知念 義裕	英語
佐藤 卓司	機械
荻野 知昭	機械
須賀 寛光	電気
増田 修一	機械
岩田 孝文	体育
横田 正明	国語
長谷川 浩	電気
山下 秀徳	体育
日比野重光	理科
小畑 雅一	商業
小林 正文	社会
毛塚 卓夫	英語
村上 信人	機械
田中 新一	商業
細井 守英	国語
藤田 稔	機械
村山 隆	機械
高橋 修	社会
岡田 求	英語
関根 勝	数学
岡野美和子	養護

◎実習助手 (7名)

馬場 文男	電気
須藤 武吉	機械
斉藤 義雄	機械
奈良 力三	機械
村田 博行	電気
青木 進	機械
椎橋 正守	電気

◎非常勤講師 (42名)

越田 至	英語
山口 善統	数学
神谷 尚利	商業
河内 照夫	社会
竹中 翠	商業
阿部 和男	機械
古市 重郎	英語
福富 千明	機械
大島 広志	国語

中村 浩一	機械
平林 久和	社会
角田 健	商業
後藤 貞二	機械
畠山 大	国語
下岡 久登	商業
黒沢 修一	英語
石渡 洋三	理科
関川 俊夫	英語
長谷川 敬	理科
出崎 和正	英語
上村 伸夫	数学
佐藤 輝朝	数学
小島 茂	商業
小沼 達雄	理科
佐藤 重穂	機械
北村 進	国語
加藤 秀樹	国語
芹沢 哲郎	社会
本多 良一	体育
三沢 厚彦	美術
永島 宏次	商業
菊池 篤	機械
棚木 常治	英語
小又 良一	電気
高橋 光春	電気
林田 章子	英語
田口 敬二	数学
野口 芳一	体育
中村 大	機械
棚橋 敬三	電気
坂田 慶隆	電気
藤田 義光	商業

◎事務職員 (11名)

山本 武志	事務長
米田 仁昌	
橋本 亮	
飯塚 方子	
村山 雅博	
谷口美智子	

大森 寿一
 本間いづ美
 中島 京子
 小松 伸子
 是枝 昌旭

◎用 務 (3名)

中野富美子
 上野 隆三
 笹川 正昭

◎法 人 (3名)

上野 雅子 理事長
 正文 文哉
 桜井 政治

◎嘱 託 (4名)

稲垣 元
 菅原 昭一
 武宮 啓夫
 依田 敏

以上

東京高校が目黒高校を破って全国大会へ……

東京2区で決勝が11月20日に行われた。

創部14年目で2度目の決勝進出を果たした東京高校が、全国制覇5度を誇る強豪・目黒高校を29対15で下し、初の全国大会出場を決めた。

1回2回と宙に舞った秋葉監督は今にも泣き出しそうだった。6年前から多摩川のグラウンドで練習を重ねて、全国キップを手にした喜びの兄弟校の健闘を祈るものである。

(井上 記)



同窓会新役員名

平成6年度の定期総会に於いて、役員は下記の通り改選されましたので、ご報告、ご紹介いたします。

名誉会長(学校長)	上野 毅	常任幹事(18期)	森 哲太郎	尚、本校を卒業され母校に勤務さ
顧問(17期)	村松 濱代	(19期)	三橋 金久	れている校内幹事は、下記の通りで
〃(27期)	渡辺 和彦	(22期)	井上 実	す。
相談役(16期)	青木 茂夫	(〃)	遠藤 孝一	校内幹事長(23期) ④ 小島 浩
〃(17期)	佐々木 努	(25期)	吉村 和重	校内幹事(33期) ⑥ 浅賀 英雄
〃(35期)	木村 恭久	(29期)	本間 計吾	〃(37期) ⑧ 米田 仁昌
〃(35期)	後藤 光明	(〃)	貫輪 弘数	〃(42期) ⑫ 荻野 知昭
会 長(39期)	黒田 芳彦	(35期)	高橋 洋太	〃(〃) ⑭ 鈴木 政広
副会長(学校)	嘉戸 直民	(〃)	河西八重子	〃(〃) ⑯ 井上 昭
〃(34期)	本田位公子	(36期)	足立 喜一	〃(43期) ⑳ 千田 一雄
〃(35期)	川名 重士	(〃)	栗花 東光	〃(〃) ㉑ 森 吉男
〃(36期)	天野 昇	(37期)	斉藤 君子	〃(45期) ㉒ 馬場 文男
〃(42期)	臼田 佳彦	(〃)	渡辺 正信	〃(〃) ㉓ 知念 義知
会 計(学校)	原田 忠彦	(〃)	岩永 通子	〃(46期) ㉔ 原田 忠彦
〃(〃)	本間いづ美	(〃)	白銀 正明	〃(〃) ㉕ 飯塚 方子
会計監査(17期)	野村 勝一	(38期)	田所 豊	〃(47期) ① 中島 京子
〃(学校)	飯塚 方子	(39期)	戸田 三光	〃(53期) ② 田中 新一
書 記(〃)	米田 仁昌	(〃)	多田 和人	〃(54期) ③ 細井 守英
		(41期)	滝口 房枝	〃(〃) ④ 村山 隆
		(〃)	柴田佐智子	※○の中の数字は、勤続年数を表わ
		(42期)	瀬戸 盛義	します。(事務局・米田)

在校生の意見

「同窓会」にどんなことを期待しますか？

(在校生より)

1. 友人との出会い。
2. 本校の発展を手伝いたいと思う。
3. みんなが行きやすくすること。
(5) (クラス全員があつまること)
4. みんなが楽しめるようなものにしてほしい。
5. 一部の人のために面倒な集まりなどを開かないでほしい。
6. 学校新築見学会。
7. 仲のよかった友達の変わりようや、どんな仕事をしているか。
8. 同窓会に参加できなかった人でも楽しめるようにしてほしい。
9. 心の真から楽しめるもの。
10. それぞれの科で別れての同窓会をしてほしい。
11. 積極的に頑張してほしい。

(質問)

1. 卒業生のうち、どんな人が会員になるのですか。
2. どんな活動が中心になるのですか。
3. どんなことを目的としているのですか。
4. 会費はいるのですか。
5. 何の集りをするのですか。
6. いつごろ、どこで、どんなふうにするのですか。
7. 何人くらい参加するのですか。
8. 先生も参加するのですか。
9. 参加しない人は寄付金を払わなくてもいいのですか。
10. 何をしますか。
11. 同窓会のお金はどのように使われるのか。
12. どういう活動をしているのですか。
13. 毎年、お金が必要なのか。
14. 必ず参加しなければいけないのですか。
15. 楽しいのですか。
16. 入会金は必要なのですか。
17. 卒業後、体育祭などの行事日程を連絡してくれないのですか。
18. 会員証のようなものはないのですか。
19. 総会の他にはどんな活動をするのですか。また毎年、若者はどのくらいの割合の人が参加しているのですか。
20. クラスの同窓会とは、どのように違うのですか。
21. クラス会などへの援助はあるのですか。

(同窓会からの返事)

1. 新年会に出席して下さい。
2. 学校行事に参加して下さい。(各8)
3. 卒業時の幹事さんの努力を待ちます。
4. 年1回の旅行会があります。
5. 月に2回の常任委員会で皆がきめることで、一部ではありません。(各8) 人 志
6. 会員一同賛成。
7. 会員名簿を見て下さい。
8. 同窓会事務局においていただければ、写真などの記録があります。(各4) 我 野
9. アイデアを募集します。
10. 先生を中心に企画して下さい。
11. ボランティア常任幹事(30名)が頑張っています。

(同窓会からの返事)

1. 卒業証書をもたらした人全員です。
2. 年間行事として、総会・旅行会・新年会を行っています。
3. 会員相互の交誼を厚くし、母校の隆盛を図ること。
4. 平成2年より、卒業時に1万円。それ以前の方からは終身会費(1万円)を有志の方から頂いています。
5. 総会(6月)、旅行(9月)、新年会(1月)。
6. 総会は学校内。旅行と新年会はその都度変わる。
7. 総会・新年会は約100名位参加している。旅行は30名。
8. 参加している。
9. いない。
10. 情報交換と親睦が主な目的。
11. 会員名簿(5年1回)、会報(年1回)の発刊費。
12. 会員の状況報告または住所確認。
13. 行事に参加する場合は必要である。
14. いいえ。
15. はい。
16. (4)の回答と同じ。
17. 各幹事に連絡している。
18. ありません。
19. 新年会、旅行会には5~10名位。
20. 第1期卒業生から本年卒業生まで一同に会える。
21. ありません。(担任より少々あります)

第12回懇親旅行記

業実京東・対燕一

平成6年9月3日(土)～4日(日)

山梨県御坂：山梨トロン温泉

恒例第12回目の旅行「山梨トロン」一泊が行われた。一行有志32名。今回は特別交渉の結果2台のマイクロバスが学校まで来てくれた。

出席者全員乗車。8時20分胸を膨らませて出発した。昨年は台風、今年は熱暑の連続の最中である。

2台の車は快調に進んだ。談合坂サービスエリアに着く。話しによると1号車は大盛会。大騒ぎのようだ。

ご存知のように後続車はピツタリつくことがおぼつかしいがよくついてくる。名ドライバーである。聞いてみると、中央道は毎日走っているそうだ。うまいはず。

2号車の騒ぎは夕食と、二次会と、ホテルの外のカラオケ店まで続いた。

何かなにやらからない。外出して三友会でカラオケ店ドンブリに押しかける。1時半頃トヤドヤ、ガヤガヤ、帰って来た。これで永い一日が終了。

4日朝、8時朝食、みんなそのわりにしっかりしている。理事長と、もう一人はここで別れた。

バスは9時30分出発、ブドウ狩り、手がベトベトになる。そんなに食えるもんぢゃない。園内の「金桜」にてパーベキュー、気温30度、それに焼肉、瓶ビールとワイン、別注文は生ビールと、どんどん売れる。

12時30分出発、腹は一ぱい睡魔が襲う。「恵林寺」参拝。遠く戦国の英雄を偲び樹木の冷風に、樹の大切さを知る。

12時30分スタート、マルマン水晶店に寄る。宣伝が効いたか、悪業を重ねる罪滅しガ？ オヤッという人が、



12時10分、ホテルに着いた。早速部屋割りがあり、外出。モンテールワイン工場に、タクシーに分乗して行く。ガイドの案内で一巡して早くも試飲ルームへと向う。試飲とはいえ昼の一杯は顔をポットさせて、心は夜の宴会へととぶ。

夕食は6時、会長、理事長の挨拶と乾杯の合図で大宴会は始った。

理事長のヘアスタイルはお下げ髪、女学生みたい。

宴は佳境に入る。話しは尽きない。グロの場面もあったが、まあ若さと酒のせいとしておこう。8時過ぎ一応中締め、二次会の別室が用意されていた。異様なフラダンスと腹芸、カラオケで唄っている。テンヤワンヤ、

テしながらネックレスを買ったと言う。女性車は相当散財したろう。1時30分帰る時、店員が列をつくって送ってくれた。

これで今回の予定は消化した。なにも無くてよかった。しかし帰りの道路事情の心配がある。2号車は首都高、羽田で降りるコースを取った。多摩川を越した頃、1号車が見つからない。調布インターで降りたと思った。順調に走っているから、こちらの方が早く着くと思っていた。が着いてみると、30分前に着いて解散したと、1号車に乗った日田副会長の言。5時20分なんの事故も無く帰着。ほっとした。(青木・記)

一流校・東京実業

昭和17年12月卒 佐々木 努



私は東実にお世話になる前、公立の学校に1年間、卒業後、国立の専門学校に3年間在籍した。いずれも当時としては難関で、自他共に認めるエリート校だった。従って平均学力ということになると、残念ながら東実の手のとどくところではなかった。しかし、教育——人間をつくる——ということになると、いづれが上か下か軽々に判断することはできないだろう。企業はトップの姿勢通りに動くといわれる。学校も校長や理事長の考え通りになるのだろうか。そこで私の知っている校長先生の一面を書いてみたい。生意気なこととは百も承知。古稀になったのでお許し願うことにする。

上野 清先生——日本の三大数学者の一人と教えられた。ところが漢字の造詣も深く、ある文学博士が舌を巻いておられた。しかし、それだけだったら別に驚くこともない。

「敬すれど和せず」ということで、遠くから最敬礼でもしているだけだ。清先生の偉大さは別のところにあった。その作られた漢詩の一つに、夜半に友を誘い、宿屋の亭主を叩き起し、月を見ながら一献酌み交わしたというのがある。私は「清センセイ」とでも言って馳けだしたくなった。

上野熊蔵先生——あのボーヨーとした風貌は懐しい。戦争中、私達は「公民」を教わった。上の学校への受験課目ではないし、昼間働いて疲れている。誰も本気でやる気がない。「公民は好眼だ」と居眠りをはじめ。中には机に伏せたまま、イビキをかきそうなのもいる。普通、先生方は、「仕方ないな、そうつとしとけ」と、どんどん授業を進められる。ところが熊蔵先生そうはいかない。

「誰だ、そこで寝てるやつは。俺がこうやって疲れた体で教壇に立っているのに、寝てるやつがあるか。そんな時には誰でも持ってきて掌にぶつ通せ!!」と一喝。みんな驚いて目をさます。そしてこんなことをよく言われた。「みんなは、今後いろんな困難にぶつかることがあるだろう。いいか、どんなことがあっても、踏まれても、けられても、雑草のように生きていくな」と。そして、ジーツと教室を見回わされていた。戦争中のことだ。



「お国のために死んでこい」と言う人が多かった中に、一度もそんなことは言われたことがなかった。

「戦争はいづれ終る。生きてろよ、それまで」といいたかったのではなからうか。

上野幸一先生——ある時、アメリカへ行かれることになり、先方の人に英語と日本語の名刺を作ってさしあげることになった。出来上った名刺は、英文が一字落ちていた。恐縮し、作り直すことを申し出た印刷屋に、「どれどれ、うーん、これでも同じように読めるから、かまうもんか、どうせやっちまうもんだ……」と言われた。印刷屋は驚いた。大体、字が少し出がわるいといったり、少し曲つてると言ったりして、鬼の首でも取ったようにギャーギャーというのが普通だ。何のミスがなくても、何か面白くない時、文句を言うために印刷屋と呼ぶ人もいる位だ。それを一本抜けてるのを平気で大きく包みこもうとする。そのスケールの大きさ、心の広さ、さすが東実の統括者として頂点に立つ人と、改めて見直す気持ちになった。これは作り話ではない。なぜならこの印刷屋は私自身だからだ。

上野雅子先生——東実創立70周年祝賀会の席上、大勢のお客さんを前に、

「私共では偏差値だけで教育しているわけではございません。世の中には最高学府をお出になられても、ものの善悪さえ判断のつかない人がいらつしゃる……」。

と言っておられた。何人かの祝詞があつたが、その他は全く霞んでしまい、理事長の独壇場だった。私は、明治、大正、昭和、平成と時代は大きく変わっても東実の建学の精神は全く変わっていない。不死鳥のようにいつまでも続くものとうれしくなった。

先日の同窓会総会で、隣にいた41期の女子商業科出身の方が、

「私達戦後のベビーブームの生まれで、その中の落ちこぼれです。「トージツ」という時、口に手をあてて小さい声で言ってきました」。

と言った。私は、「そんなことないですよ。私達は、あなた達の生まれる

数年前に卒業していますが、東実がけっして悪い学校でもお粗末な学校でもない証拠に、この年令になっても、出てきています。卒業生の中には、立派な方も沢山居られますし、私立学校の良いところで、いつまでたっても親しみを感じています」

と答えた。彼女は「そうですか」と言ったが、何か半信半疑のような態度だった。

「無極にして大極」という言葉が、清先生の胸像の下に刻ってある。鷹野先生は80才位になり、やっとその言葉がわかりかけてきたといわれていた。同じように私は、卒業以来50数年、やっと学校について、次のようにわかりかけてきた。

「東京実業は一流校なんだ」(1994. 6. 19)

師 弟 共 に 受 勲

昭和16年4月、私達は東実二部の4年に進級した。野村、杉山らと一緒にだった。

そこに、学生服を着た巨漢が教壇に立った。

明治大学の学生とか、これが河野先生との出会いである。たしか商業算術を教わった筈だが、今になるとさっぱり残っていない。理想に燃える青年教師は、懸命に努力したが、生意気な生徒は、全然聞いていなかったが、聞いてもわからなかったか。

以後50数年、河野先生は、海軍→復員→公認会計士→明大講師→大東文化大教授→商学博士→センチュリー監査法人会長・代表社員として多忙な日々を送られた。

杉山は、中央大学→陸軍航空隊→復員→弁護士→横浜弁護士会々長→関東弁護士連合会理事長→

日弁連常任理事等を歴任、多端な日々を送っている。公認会計士になった野村は、センチュリー監査法人代表社員として、河野先生と一緒に仕事をしてきた。

現在、野村、杉山共に学校法人上野塾の監事、評議員である。更に野村氏は同窓会の会計監査役でもある。

今回、春の叙勲で、河野、杉山の両氏が勲四等旭日小綬章の栄誉に輝いた。かつて上野幸一先生が受章されたものと同じである。

6月15日、キャピトル東急ホテルで河野先生、6月24日、横浜東急ホテルで杉山弁護士の祝賀会がそれぞれ盛大に開かれた。上野塾理事長先生、東実校長先生共々にご出席された。われわれもクラス会代表が出席、喜びを共にした。(1994. 7. 25) (文責・佐々木)

● 建築・土木・防水・設計・施工業

(新築工事から補修工事まで)

建築——ベランダ・屋上・外壁等

- デンマークで開発されたバンテックス・インターナショナル社(スイス国)
- ケイ酸質系浸透深達塗布——バンテックス工法

土木——池・地下車庫・地下構造物の内・外壁等に

- アメリカン・コロイド社製
- ナトリウム系ベントナイト——ポルクレーパネル工法

防水——ビル及び一般住宅雨漏りからダム工事まで

創業30年 渡 辺 商 会

知事許可(般-6)第5472

2級建築施工管理技士

〒235 横浜市磯子区森6-11-20 TEL.(045)761-3010(代) FAX.(045)761-9570

代表 渡 辺 正 信 業 (昭37・M卒)

東京実業高等学校同窓会

平成6年度定期総会並びに懇親会開催



副会長 35期卒 **川名重士**

本年度は6月12日(日)午後、どんよりとした曇り空、79名が出席、田校小ホールにて行われました。

総会は会次第に添って進められ、上野校長先生より学校の近況報告、続いて議事に入り、各議案は順次承認され、なお、本年度は規約による役員改選があり、黒田副会長が会長に就任した。

渡辺会長は同窓会の良き指導者として活躍されたが一時体調を崩したこともあって、これを機会に後任会長にふさわしい黒田副会長を推薦し退任された。

黒田新会長は新役員を紹介し、各議案は満場一致で承認され盛會に完了した。

総会に続いての懇親会は小ホールを会場に使用するのは今回初めてで、会場設営その他、学校の協力を得ました。中庭を狭んで隣の大ホールで記念写真撮影後、来賓の東京高等学校同窓会成瀬副会長さんのご来会があり、そして以前からの念願であった小ホールでなごやかな内に懇親を深めることができました。





▲平成6年度常任幹事



▲懇親会風景

▼懇親会風景



2日 於・学校大ホール

定年退職者挨拶

元教員 **福沢 利男**



長年勤めた職場を離れるということは、たいへん寂しいものであります。

あれから、はや半年以上の時間が過ぎ去ってしまいましたが、当座は離れるにあたっての様々なことに追いつ回されて感懐にふけることもなく、あつけないままにその時を迎え、通り過ぎてしまいました。最近になって何とか心の中にゆとりを持つことができるようになり、30余年の長きにわたってお世話になりました職場のことをあれこれと憶い出している所であります。

何といっても職場の仲間たちと喜怒哀楽を共にできたことは勿論であります。それ以上に、時におもしろくありまた、真面目なことを本質として持っていて、

何事につけても真剣であつた。生徒諸君との触れあいは、私にとってかけがえのない体験であり、何にも変え難い「宝」として心深く刻まれております。

このような貴重な体験を得ることができました職場に私は大きな誇りを感じております。今その職場を離れて、全く異質の社会にあつて日々を過ごしておりますが、という角度から眺めてみても、あの体験を味わうことは全くできません。「井の中の蛙」的な側面もあるように思われることも確かでないこともありませんが、それを越えたものが、あの体験の中にはあつたと確信しております。そういう意味で、東実での30余年の生活を送れたことを私は間違つたものではなかつた。これでよかつたと思つております。今この職場を離れるにあつて私は、ますますの職場の発展と仲間達の幸福と健康を祈つて止みません。

また私に生きる勇気とたくさんの貴重な体験を与えてくれた生徒諸君に心から感謝し、諸君の人生に幸福あれと祈つて止みません。本当に長い間お世話になり、ありがとうございました。

新年会報告

平成6年1月22日(土)川崎日航ホテル12階西の間で、6時より約130名の参加で、新年の初顔合わせをしました。

会長の新年挨拶に始まり、学校長の挨拶・職員と各期

の紹介などがありました。

立食パーティーでありましたが、同期を越えての三五五、談笑姿が見られ楽しいひとときを過ごしました。

(記・滝口)



◀16期～32期



34期～47期▶

互常の人生膝栗毛

神奈川県互・屋根工業連合会

横浜支部 岩島 常男
第22期卒



親方になると職人を養っていかなきゃなんなくなるから、つい、フォア・ライフに走っちゃってね。フォア・アートに生きなけりゃいけない、なんて時折自分を戒めるようにしてただけどさ。

オイ、今けえつたぜ。お客さん、お連れしたんだ、あいさつしねえか——これが、あつしの嬢アでさ。もつと山の上のいいところに家を建てようと思ったんだけどね。見に行ったら、嬢アのやつが「みそ、しよ油きらしたとき、借りられないようなとこ住むのイヤだ」なんて、ゴネやがって。

——オイ、ここ拭けや

それで、こんな狭くろしいとこ住んでる。

きょうもね。朝出るとき、さ。「あんた、そんな恰好で電車乗って、よく恥づかしくないね」なんて、なん年も互師の女房やってるくせに、そんなこと言いやがる。そんなアツパツパツなやつだから仕事にゃ口出さないし、かえってうまくいくんだ。オムスピを二つに分けて食べるような人間の方が、いざというとき、苦しみを分かち合ってチャンと生きるからね。ぜいたくは敵だ。な、そうだろ。なア、カアちゃん、あと、なん年も生きられるわけじゃないから、いたわり合って生きていこうや。エッ、ナニ——。

「あんた、口で言うんなら実行すりゃいいんだよ」

だつてさ。へッ、なんてことぬかしやがるンダ。そこへ置いとときゃいいよ。大人なんだから、自分でいいように食べらア。

馬には乗ってみろ、人には添ってみろ、なんて言うようにね、意志の疎通は電話なんかじゃ駄目でね。電話で商談が成立すりゃ便利のように聞こえるが、それで失われることのことを考えりゃ手放して喜べないよ。——あつしは本を読むのが好きでね。漱石の「吾輩は猫である」なんか六回も読んでるカナ。読むたびに意味が違うからね。おもしろいね、N/V/V——。コンスタンチン・V・ゲオロギグの「二十五時」つて本、知ってるかい？そいつを読むとね。人類に残された最後の一時間は機械文明が支配するようになるだろう、なんてさ。そんな警告をしてるんだね。

今どきの親を見てると怖くなるね。男親も甘い、女親が甘過ぎる。子供に用いいつけても、母親がやっちゃうからね。——おまえのことじゃないから心配すんなつ

てッ——幼稚園行って「ウチの子はどうですか」なんて聞く母親がいるだろ。そういう母親はいい加減に目を覚まして貰いてえな。幼稚園の先生は子供産んだことないんだし、母親の方が、腹もいため、人生経験も豊かで四六時中子供と一緒にんだから、わが子は自分で見つめて貰いたい、つてこと——。

え？ ウチの子供は、ね。上は、今、中学だけどね。

互師になるのは強制しないが、卒業したら他人のメシ食わせるよ。学校なんか定時制へやればいい。学問やると「子供半バカ」つてさ。ふつうだと、教育は人間の荷物にならない、というんだが、それは心構えの出来てる人間の話でね。学歴をハナにかけるような人間には、却つてお荷物なっちゃうんだ。——東大出が騒がれるなんて、本来なら、紀元前一千万年の頃の話さ——、だからね。親として不安もあるけど。かわいい子には旅をさせろ、つていう通り、他人のメシを食うことで、学校や家庭で学べなかったことを吸収して、精神的成長を遂げてもらいたい、と願ってる。わが子に仕事を教える自信はないし、仏つくつて魂入れず、つてなことになっちゃうまじいからさ。

あつしが互師の道に入ったのは終戦の年の九月——。

親方の実家が、蒲田にあつたあつしの実家の隣りでね。

「互屋になる気はないか」つてんで、黙つたら、

「屋根の上乗つかつて、能書き垂れてりゃいいんだ」

なんて、だまされて。親方つてのは、吉野町の山橋与作さ。フランス互なんて呼んでた洋互を貰かしたら天下一品でね。あつしが二十坪やる間に四十坪やってしまう。それでいて仕上がりがいい。シャツチョコ立ちしてもかなわネー。

それを見習つたわけじゃねえが、あつしなんぞ小僧の頃から——、ン、小僧に入りたての頃、本牧の焼け野原でパンパンがアメリカ人とひっついてんの見てさ。あつしてもあそばせるかって聞いたら、親方に言いつけられちゃつて、兄デシにこっぴどく怒られた。仕事は、もう当り前だから、死に物狂いでやったが、飲む、打つ、買う、の方も三拍子揃えてやった。さ。夜、井当持つて家を出て、遊んでから屋根の上で寝てて、お日さまがまぶしくなって目をさまし、それから仕事を始めた、なんてこともあつたくらい。飲みすぎて、どんなにゲボゲボしても仕事だけは、キチンとする、それが職人の根性というものさア——。

飲み屋の女の子と旅館へ行き、身ぐるみはがれちゃつてね。丹前に靴だけで帰つたら、女房のやつが、舌気するより先に「すぐ仕事行け」つて、さすがだね。銭湯の屋根置くときもね。仕事は三時まで、あとは見る専門なんてことやってた時代もあつた。銭湯の主に「あすから

あの職人はよこさないでくれ」なんて言われたこともあるし、そうかと思うと、逆に「瓦屋さん、女湯はこつちだよ」なんて粋な爺さんも居たね。仕事終わると、風呂入って、って言うてくれる人もいたし、昔の建主は人情があった。職人なんてのは人情バカが多いから、人情に訴えられると、タダでも、いい材料使っちゃったからね。

ン、——仕事以外じゃ、ずいぶんズッコケたが、道楽はみんな卒業した。一生卒業できないのは瓦師の仕事さ。

どうい屋根がいいかっていうと、東大寺のような本意きもあれば、一般社寺の向拜方式なんてのもあるからね。一概に、こうとは言えないが、一般の家では材料の如何を問わず「風で飛ばず、雨で漏らず」ってことに、最近じゃ「地震で落ちず」が加われば、いいんじゃないか。あとは手入れだね。「手入れ年々、百万年」さ。

いい仕事を残す——って、いうけれどね。東大寺のような仕事はもうないしね。職人の方で、やりたい、と思

っても、どうにもならないさ。たとえば悪いが、芸者と同じでね。どんなにいい芸を身につけてても、お声がからなけりゃア、それでお終い。ありゃーやりたいね。墓の下に眠ってる、あつしたちの親方に恥じない仕事をさア。

会合兼業工財器・瓦川千尋

この半纏と合わせの浴衣がウチの家宝——さ。永井龍男先生とこの屋根を置き替えたときに載いた。——

夕方、ブヨに似た虫が軒先、トヨ伝いに集ると雨。クモが巣を張れば晴れる。ハチが大棟に巣をかけたら、その年は台風が来ない。逆に、マサキ、アオキにかけたら来る——なんてことを講釈したら「冬遠からじ」という随筆に書かれちゃった。

——オイ、お帰りだよ。お見送りしな。

こういうバカっ話も仕事のうちでね。工口話しながら仕事する職人は、あつしが最後かも知んねえな。

——終り——

祝：開店 「蒲田にゴージャスな社交場出現」 東実同窓生大歓迎!!

パブ ラ・ビアン

代表取締役 瀬川 千尋 (蛭42年卒)

蒲田西口駅前郵便局前 澤田ビル4階(理髪店上) ☎3733-7796

皆様のご商談・ご接待に应酬間としてご利用下さい。(第42期卒業生一同)

クロダエンジニアリング株式会社

機械・プラント・電子機器設計
CADソフト及びCAD入力業務全般

〒230 横浜市鶴見区平安町2-3-3

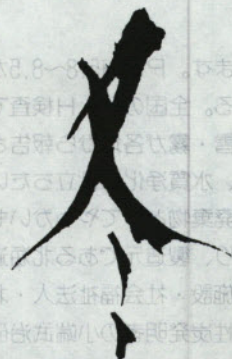
TEL. 045-502-0606

FAX. 045-502-5590

代表取締役社長 黒田 芳彦 (昭39卒)

地球と人間と水のかかわり

第37期商業科卒 下山 仁士



私たちは、誕生する以前から母の体内に宿ったとき羊水という名の水によって保護され、誕生してからは体内の水分は70%前後で形成され、10日間位水分を取らないと死亡する。人類にとって水は掛け替えのない命の源、その宝物の水が人々にあまり理解されていないのではないでしょうか。

地球上の水環境は人類が誕生する以前、何億年前より現在に至るまで、水量が変ることなく、同じ水を利用している事実を認識し、今後限られた水とどのように付き合っていくかが大きな課題だと思います。

地球は水の惑星といわれていますが、海水が全体の97%を締め、淡水はたった3%といわれています。(3%の主な内訳は、南極・北極の氷、万年雪、湖、池、ダム、河川、水田、森林保水、地下水等)、その3%の100分の1ないし200分の1の淡水が、生活・工業・農業用水として利用されている。

水は地球における最大のリサイクル資源です。97%を締める海水が太陽熱により水蒸気になり、雲になる。その雲が淡水になった雨・雪となって地上に降り、地球上の全生物に命を与え、河川を下り海に帰えり又、水蒸気になってというシステムが何億年前から繰り返されている。

その貴重な水を汚すのが、主に人間です。生活・工業・農業排水などで、昭和30年代より、水質汚染が進み、行政・民間も、汚れた水を清くしようという気持が生れています。ではどのように水質浄化したら良いか、非常に難しい問題ですが、ひとつの方法として、一部の国が取り入れている法律があります。その名をスーパーファンド法といい、河川水汚染防止・地下水汚染防止のために作られた法律でまだ日本国にはありません。法律化している国は、オーストラリア・アメリカ合衆国の一部の州にすぎませんが、今後、各国も真剣に検討されることと思います。 (寄稿 山)

(実 土 井 山 仁 士)

【スーパーファンド法】とは——至り出界せむむ本河川・湖・池・地下水より、人間に有害な物質、(例)砒素・亜鉛・水銀等が、水質基準値以上の汚染濃度で検出された場合、その排水元を調べ改善命令を出す。改善されない時は、工場ないし施設は閉鎖する。又、調べはじめてからの費用は全額、排水元が負担するというきびしい法律

生活雑排水浄化で、即出来ることは、一人一人が食べ残し、飲み残しをしなければ大田区の呑川、多摩川、鶴見川が、昭和30年代の河川に近づく筈です。

水質浄化は、大気が汚れていても、土壌が汚れていてもいけません。河川は1m流れば浄化するといいますが、今日の都市河川にはあてはまりません。水を浄化してくれた微生物が少なくなったからです。北海道小清水町の獣医、竹田津実先生は水は水で洗えなくなった。水は大地が洗ってくれるものその大地が汚れては、と訴えている。

では、なぜ汚れてしまったか。例として日本は太平洋戦争中より食料が不足し、戦後食料増産の必要上、各地で多量の農薬使用で農作物を作り、国民の飢えを凌いできました。それは必要なことですがその付けが40数年後の現在に回ってきている。各地の地方新聞には、保健所よりのお知らせで〇郡〇町〇地区の井戸水は飲料水に適しません。水道水をご利用下さい。

このような記事は日本のどこかで毎日載っています。地下水の流れは、年間1m位しか流れないため、浅井戸(30~60mの深さ)に農薬が到達し汚染された例です。又、全国2,600ヶ所のゴルフ場でも農薬が使用されていますが、水質保全上無農薬が減農薬が叫ばれている。

大気汚染も水質悪化になります。各工場の煙突から排出するSOx(硫酸化物)、NOx(窒素酸化物)などが酸性雨となり、酸性化した水が森林破壊を引き起こすことになります。水の酸性・アルカリ性の記号はP・Hで表



します。P・H5.8~8.5が人間及び生物・植物に適している。全国のP・H検査では、3.8~4.7と酸性化した雨・雪・霧が各地から報告されている。この現状から私自身、水質浄化に役立ちたいとおもい1990年、古タイヤ（廃棄物としてやっかいもの）から作ったG・活性炭を知り、製造元である北海道札幌郡広島町の身体障害者授産施設・社会福祉法人・北海道リハビリ同施設でG・活性炭発明者の小端武治研究室室長から自然環境浄化を学びながら現在に至っています。

北海道リハビリでは、古タイヤ（年間50~70万本）を焼却し、温水と蒸気を施設内で利用しています。古タイヤを焼却するとSOx（硫酸酸化物）、NOx（窒素酸化物）が発生する。SOx、NOx吸着にG活性炭を使用し、SOx基準値2,600を測定値、5.7、NOx基準値350を測定値130と基準値より60~70%ダウンして煙突から排出している。

酸性雨を考えたとき、脱硫・脱硝装置が不備な工場等に低コストで出来る装置が必要ではないでしょうか、又、土壤汚染防止に無農薬、減農薬を提案していますが、

1994年5月より、東京都江東区の若州ゴルフリンクスでは、グリーンにG・活性炭を使い除草剤は使用しますが、他は無農薬で芝生も青々と育っています。

農作物では、埼玉県春日部で生ゴミとG・活性炭のコンポスト堆肥でじゃがいも、白菜、トマト、なすなど1992年より同じ畑で連作障害も出ず、今日も収穫している。1994年8月山梨県都留市の古屋宅では、ミニトマトの木が4mも成長し実もたくさん付き驚きました。以上無農薬河川浄化では、G・活性炭使用で1991年より杉並区の神田川、1993年より港区の古川を脱臭浄化、現在も進行中。

（私事で恐縮です）

日本は世界中に類をみない水に恵まれた国のため、空気と水はタダ！という風習が人々に根強く残っている。この恵まれた水環境を子孫に引き継ぐ義務があるはずで、汚れた水を綺麗にするには1t 3万円~4万円位い費用が掛ります。そのようにならぬよう一人一人が汚れて捨てる水に感心をもっていただければ幸いです。

討 報

※第16期卒 村松幸雄(71才)

平成6年4月5日 10:00AM 脳梗塞
永い間、軽金属製品協会を現役で勤務していたが、この頃非常勤で協会史を編纂していた。

方円会の常連でよく協力援助してくれて心強く思っていた人である。

16期ではポロポロ減っていく、寂しい限りである。彼は田村と同じ早稲田で大変仲が良かった。今頃は肩を組んで「都の西北」を唄っているだろう。痛恨極まりなし。冥福を祈る……。 (青木・記)

※第35期女子商業科卒 常任幹事 木村敬子

平成6年9月9日 午前12時40分 脳出血で御逝去。尚、故人木村敬子氏は旧性並木さん。女子商業科で学び、卒業後同期商業科の木村氏と結婚された。本校ではその様なカップルは少なくありません。

又、夫である木村氏は元同窓会副会長として永らく会のために尽され、故人敬子氏も、常任幹事として、よく35期をまとめ、本会に大変協力して下さいました。ご冥福をお祈りいたします。

(35期河西・記)

〈新卒者〉

同窓会についてのアンケート報告

平成6年3月卒業生全員にアンケートを取りました。615名の回答をいただきましたが、以下項目別に比率を出して見ましたので、会員の皆さんの御参考に供します。

質問項目	参加する	参加しない	わからない
①定期総会 (毎年6月)	(%) 12	(%) 77	(%) 11
②親睦旅行会 (毎年9月)	9	84	7
③有志新年会 (毎年1月)	11	77	12
④同窓会報発行 (年1回)	(発行してほしい) 31	(必要ない) 63	6
⑤会員名簿発行 (5年毎)	(発行を続けてほしい) 39	(必要ない) 54	7
⑥クラス会開催 (年1回)	(年1回) 15	(2年1回) 55	30
⑦学校行事 (文化祭・体育祭)	8	81	11

※その他の主な意見では、1. 会費1万円は高い(10%)
2. がんばれ(30%)、3. 金をかけるな(15%)

(提案者 米田仁昌)
(資料責任 井上 実)

クラス会だより

「方円会」

第16期卒 青木 茂夫

平成6年度の16期「方円会」が6月16日鶴見の「翠華楼」で開かれた。但し3時25分高島町ガード下の食車等、45㎡の火災でJR線、東横線ともに大幅に混乱し、影響を受けた人は9,000人に及んだ。それが不運にも「方円会」にも及んだ。川崎からタクシーで来る人、電車内で2時間近く閉じ込められた校長。店側も理解してくれて開会は1時間遅れた。終りは8時半であった。

内容は皆さんの会と同じと思うので省く。

各出席者の状況は、人が来たり、土・日曜はダメ。夜になるとダメ。予定が重なった。体調が悪い。色々な事情があるが強制はしない。12名となった。理事長、校長が出席してくれた忙しいのに感謝している。それで14名となった。

昨年は元気な後藤君が動けない。石渡君も動けない。あんなに元気だった村松君が4月5日急逝した。和田君が1月に開腹手術して欠。珍しいのは安食君が来てくれた。一人増えると減るし、なかなかうまくゆかない。

上記を勘案して7年度は、平成7年6月19日(月)午後1時、銀座アスター蒲田資館と決めた。早速予定をとって下さい。駅ビル西館の7Fだよ……。 (青木・記)



平成6年度翠華楼にて人員の減る「方円会」

東実一八会開催

第18期卒 森 哲太郎



今年も一八会の季節がやって来ました。

三科教官を併せて総勢26名、場所は横浜中華街「同発別館」昨年は卒業50年を記念した集りでしたから、今回は第51回一八会となります。卒業の翌年、登戸での開催以来一年も欠かさず続けて来た一八会、おそらく東実同窓会の中でもピカールではないか、と誇りに思っている次第です。一時は10人前後まで減った集りも、来年は愈々、70才の大台という現在では、段々と出席率も高くなって来ました。100% 現役の頃は、仕事の話が中心であったのが、年金生活の今日では、すっかり50年、昔の在校時代の話に花が咲く様になりました。現在の世の中は、特に都会では、人々の連帯観が薄くなり、卒業後の友人関係も、つい疎遠になりがちで、同期会などの開催も少なくなって来ている様ですが、新しく同窓会のメンバーになれる諸君も、我々の年になる頃の日本は、今と大分違った昔の様な連帯観の強い国になっている事が予測されます。是非我々一八会を見慣って、誰かが世話役となり、卒業の翌年からの集りを実行される様、望んでいる次第です。 (一八会幹事 森 哲太郎・記)

ing

COMPANY CONSULTing
MATERIAL PLANNing
TV COORDINATing

代表取締役 戸田 三光 (昭39・C卒)

バック

株式会社
東京都新宿区新宿2丁目13番7号・303
TEL 03-3353-9225 FAX 03-3353-4847

「十九実会」謝開会八一実東 板妻・滝ヶ原懐古見学会のご報告

第19期卒 吉浜 照治

去る平成6年10月13日、十九実会ではかねての念願であった旧板妻及び滝ヶ原廠舎の懐古見学会を実施しました。当日は天候にも恵まれ、元教官三科六郎氏を迎えて20人がマイクロバスでJR川崎駅前を出発しました。

参加者の中には遠く千葉県松戸市から藤野孝氏、八王子市から辻義和氏、大和市からは佐々木勝一氏なども夜明けとともに家を出て集合地JR川崎駅に駆けつけてくれました。

思えば私達が富士のすそ野の板妻廠舎や滝ヶ原廠舎などで当時の上野熊蔵校長や三科教官などに宿営軍事訓練を受けたのは昭和17年から昭和18年の頃であり、すでに50年余の歳月を経ているのであります。それなのに今なぜ板妻なのか滝ヶ原なのか、戦後の卒業生の皆さんには理解し難いことと思います。

戦前に卒業した私達にとって板妻・滝ヶ原は東実時代の連帯の原点なのであります。これは理屈ではご理解頂けないことでもあります……。

当日参加者のひとり吉原和富氏(川崎)より「思い出の写真集」が全員に提供されました。私達のほとんどが昭和20年8月の戦災で卒業アルバムを焼失しておりますので、これは素晴らしいプレゼントになりました。写真集には上野校長・鷹野先生・川勝先生をはじめそれぞれ個性ある諸先生方や今は亡き同窓生の姿もあり一同大いに感謝した次第です。更には十九実会代表幹事の白滝俊朗氏(大田区)からは、当時の廠営訓練の日記帳のコピーが配布され、当時の状況が更に鮮明に思い出されました。

私達は先ず御殿場市の旧板妻廠舎を訪問しました。

ここは現在は陸上自衛隊板妻駐屯地となり第34普通科連隊が駐屯していました。その周辺は人家も多くあり昔の原野の姿はありませんが営内には旧兵舎も残存し、わずかながらその面影をとどめているのみであり、まさに50年の歳月の感慨を深くした次第であります。

隊内では若い隊員達が教練や銃剣術に汗を流しており、私達も若ければ「昔とったきねづか」とばかりに飛び入り参加したくなるような気持ちになってまいりました。

ここには記念館がありその昔の状況や現在の自衛隊の総合火力訓練映画が見学できました。この記念館には武江勇氏(横浜)が当時の慰問袋を展示用に寄贈しました。参観記念の記帳は三科教官殿と白滝代表幹事が行いました。



旧板妻廠舎にて(銅像は橋中佐)

前列右より3人目細江元教諭その左白滝代表幹事
その左三科教官その左後吉浜
後列左端山川元親師会長

つづいて私達は板妻を後にして滝ヶ原におかいました。滝ヶ原も陸上自衛隊駐屯地になっております。御殿場市であります。まさに富士のすそ野にあります。私達のバスは先ず野外夜間訓練で苦勞した富士の原野を富士山に向って走りつづけました。富士のすそ野はやはり広大でした。折り返して滝ヶ原自衛隊駐屯地に入りました。

滝ヶ原は板妻より規模が大きく、教導団、特科部隊、教育隊などが総合的教育訓練を行う基地のようであり、営外にはアメリカ軍の部隊も駐屯施設をもっていました。

滝ヶ原では、最近の火器の変遷や特車(戦車)や戦闘指揮車を見学し、その重厚性や高機能性に昔日の感を深くしました。昼食は隊内食堂で隊員と同じ隊内食を食べることができました。1食376円、エビフライ大3本付き、美味なるも量多く食べ残す者もありました。ここにも資料館があり、銃器・衣服等の変遷などを見学しましたが、ここでは下条秀男氏(川崎)が代表署名を行って来ました。

更に私達は廠営訓練最大行事であった長距離難行軍を行った筆坂峠越え山中湖ルートに入りました。

その当時この道は砂利道であり板妻—山中湖は往復32キロメートルですから、全校生徒がよくぞ歩るきぬいたものと今更ながら当時をふりかえり感無量でありました。

山中湖は昔のままでありましたが周辺は観光地となり、私達はそれを見ながら忍の八海まで足を伸ばしてきました。帰路は筆坂峠の中腹をくぐり抜ける五湖新道を通り、再び東名高速で川崎に帰ってきた次第です。

これはその世代を共に生きてきた者達のノスタルジアカも知れませんが、それとも単なる感傷でしょうか、生きていることの幸せを再確認する精神の帰郷行動のひとつかもしれません。

(平成6年10月28日 吉浜・記)

感激40年ぶりの クラス会

第29期卒 **箕輪 弘数**



我々が東京実業高校商業科に入学した当時、クラスメイトは40数名在籍者がおりましたが、卒業時32名でした。

今年（平成6年）の同窓会の新年会で、クラスメイト4人が集りその時の二次会で40年振りにクラス会をやろうと相談がまとまりました。がそれからが大変、同窓会の名簿、電話帳、友から友への連絡等の末、やっと20名の消息がわかり、平成6年4月10日母校の隣にある割烹“まるい”にて宮地先生をお招きし、12名の参加者で催されました。

クラス会は、故上野幸一先生（当時は主事）同級の故白銀睦、故永塚幸一、故熊谷章一の3君の冥福を祈って黙禱を捧げた後、雑談に入る。

40年の空白はともに頭髪はなくなり、気取って入ってきた連中も時間がたつにつれ40年前の生徒に戻り、過去の青春を語り、なかには感涙する人もいて和気あいあいのうちに次回の再会を約し散会いたしました。



簿記部同窓会開催

第38期卒 **飛田 昭**

昭和36年度から昭和39年度卒業の簿記部に在籍いたしました同窓生が、去る8月20日(土)に17名で横浜の日産厚生年金会館において同窓会を開催いたしました。

卒業以来30数年ぶりに出会った人もいて、お互い髪の毛の白さや、しわの多さ、スタイルの変化など学生時代の思い出に花が咲き、互いに酒を酌み交わし会館の21階より見る夜景と料理と話題に、多いに盛り上がった時を過ごし2次会、3次会と時間の過ぎるのも忘れ学生時代の延長のような錯覚さえしていました。

このように私達簿記部の同窓会は過去においても実施がされていますが、今回の話題の中で、簿記部のためにご尽力いただいた先生にも是非参加をしていただき、毎年実施をしたいとの声も聞かれています。

更に、同窓会の皆様で簿記部に在籍された方が、おられましたならば、ご連絡下さい。

連絡先：飛田 昭 座間市相模が丘3-51-7

☎0462-54-8623

安藤加代子(旧・藤岡)

横浜市神奈川区白幡東町17-4

☎045-421-4757

(幹事 飛田・記)



税理士 **六部 峻**

事務所 〒104 東京都中央区銀座3丁目11番16号
日金ビル8階

TEL. 3545-6143

FAX. 3545-6091

自宅 〒142 東京都品川区平塚3丁目3番14号

TEL. 3787-2635 (昭16. 12. 卒)

代表取締役 **加藤 憲治** (昭41・M卒)

ビル・メンテナンス

東南総業株式会社

〒230 横浜市鶴見区生麦5-8-8

TEL. (045) 501-8996

FAX. (045) 504-4588

同窓会有志新年会

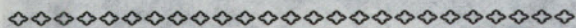
第41期卒 須山 悦子



平成6年1月22日(土)川崎日航ホテルにおいて、東京実業高校同窓会有志新年会が行なわれ、私達41期は、皆で声を掛け合い、総勢18名で参加をした。当日は大平先生、小島先生と懐かしいお顔を拝見し、バイキング料理やお酒を頂きながら大変楽しく過ごしました。

また、学校長の近況報告で、学校施設が大変立派になった様子や後輩の活躍を伺い、私達の学んだ25年も前の校舎や先生方を懐かしく思うかべた。同窓会への出席は初めてだったが、母校で学んだ諸先輩方との交流で心暖まる一刻を過ごす事が出来、機会が有りましたら次回は同窓会親睦旅行にも参加をして見たいと思う。

41期卒は折に振れ年に1~2回、会を催しては皆で会っている。青春時代を共に過した仲間は心の友でもあると思う。
(須山・記)



ご 注 意 !!

最近、同窓会と称して又まざらわしい文章(電話)で本人の留守中、自宅に「只今同窓会名簿を作成中です。卒業生の住所・勤務先……電話等をお聞かせ下さい」とか、周年事業で新聞に広告を掲載します。ご協力を、と金銭を取っている業者がいる旨の苦情の電話が事務局に頻繁に入って来ます。これ等は一切事務局とは関係ありません。不審に思われた時は、その場で答えず、後日本人に聞いてから……と相手の電話番号と名前を聞いて、事務局にご連絡下さい。事務局でも大変迷惑しております。お互いに連絡をとり合って充分気を付けましょう。

8824-402 (24) XA7 FAX (04) 204288 (事務局・米田)

卒業生出会いシリーズ⑥

東実生が魅せる



第22期卒 井上 実

下町に60数年生活してきた私であったが、ほんの出来ごとで磯子の高台(三井団地)建売住宅に移転してしまつた。

今までは、日常生活の家の修繕や工事などは不自由せずに人まかせていた私であった。

さて新しい土地で一番困つたことは、電気工事である。テレビ(5台)、クーラー(3台)を旧家より取り外し持ち込んだものの、取り付け工事は誰がやってくれるのだろうか?と思案の毎日であった。

たまたま娘の嫁入り先の親類が近くにいるとのこと、早速電話にて紹介してもらつた。

やがて数日後工事にかかってくれる電気屋さんか2人やって来た。アンテナを取り付け工事にかかる。その一人(上司らしき者)に私が、頼みこみ私のルームにTVを配線してほしいと言つたが、その返事は「新築の家は配線のない部屋には取り付けられネー」と素気無い顔である。「そうかヨ!!」と私もケンカごしてヘソを曲げる。そこでそのやりとりを聞いていた屋根の上の青年が言う。「壁に穴が空きますけどやって見ますヨ!」と心良い返事がかえつて来た。

持ち込んだクーラーの1台が、200Vであったため、その青年が気持良く「この200Vのクーラーは得意先の工場にでも売って来ますヨ、そのかわり、新しいのを買って下さいヨ」と商売上手である。

やがて保証書の作成である。夜遅く来た青年が言わく「お客さんは大田区にいらしたんですが、懐かしいなあ」と高校が蒲田なんですよと言う。言わずと知れた東実の59期電気科卒であった。驚きの両者の顔を見ていた家内が「それじゃ冷蔵庫も新しくして下さい」と気に入る。

その後も電球一つでも持ってきつてと家内がファンになつてしまつた今日この頃である。

青年は、卒業後日産モーターに就職したものの直ぐにやめてしまい、現在のコバヤシ電化チェーン「マイティ」の本店(京急杉田駅前)に勤めていた。

今やセールスプラス学校で教つた技術を十分に生かしている青年であった。

実に愉快な話しではないか……。 おわり
青年……第59期卒 門間史明
私……第22期卒 井上 実

友との出会

第34期卒 細谷房芳



最近、所用があって蒲田駅に下車した。懐かしく思い学校まで歩いてみた。数十年ぶりに見る学校は、場所も少し変わり、校舎も近代的な建物になっていてびっくりした。

あの頃は、隣に御園中学があり、側にはラブ・ホテルが何軒かあった。今は、それらの建物は無くなり、変わりに住宅や会社等が立ち並んでいた。

また、学校だけでなく蒲田駅周辺は大きく変わってしまった。駅ビルがでか私鉄は高架となり、ビルが建ち商店街もアーケードとなり大きく変貌していた。

卒業して35年経った今は、記憶にほど遠く近代的な街となっていた。

私は、昭和34年の東実商業科卒業生である。当時は、男子3クラスと、校舎は別だが女子商業科1クラスと、それに機械科3クラスで編成されていた。

我々のこの昭和34年の商業科同期会は、今年の11月で11回目を迎えることになった。

私がこの会に参加するきっかけとなったのは、確か、平成元年の第5回目だったと思う。高校・大学が一緒であった新井璋弘に誘われ、懐かしく思い参加する気持ちになった。

急に思い立って参加することとしたので、当時の状況も分からず、多少不安もあったが、「こんにちは、久しぶりです」と言って部屋に入ると、男性だけだと思っていたのが、女性も居たのでちよつと意表をつかれた感じであった。

自己紹介はあったものの、頭はうすくなり、白髪やしわが増えた顔で名前が一致せず、少々戸惑い気味であった。一人一人話しているうち、「ああ確か、こんな奴がいたなあ」と、おぼろげながら学生時代の面影を思い出していたのである。

この時は、現在の上野校長夫妻のご臨席を仰ぎ、総勢30名程度の参加があったと思う。

30年ぶりの再会に自分の歩んできた人生、友人との別れ、そして出会いと、さまざまな話に盛り上がりをもせ、楽しい1日を過ごした。

定例となったこの会の開催場所は、最初から、我々の仲間である『ガンリョウ』こと岩柳が自分が経営している店『割烹・春栄寿司』を提供してくれている。

私が参加して早くも5年が経ったが、毎年新しい仲間が増えていく。子どもが育ち、結婚し、孫ができた人。結婚に終止符をついた人。独身を楽しんでいる人。また精力的に仕事を楽しんでいる人等々、今の心境を語りながら夜中まで飲んでいることがままにある。

1年に1度の集まりであるが、年齢も忘れ自分たちが20代、30代のつもりでいるのである。

私自身、その中で一番若いと思っている。……？
クラスが違っても同じ学園で学んだ朋友であることに変わりはない。

頭の髪は、うすくなっても、白くなっても、元気に仲間に出会えることはすばらしい。

若いころは、数年に1回会えれば懐かしさが増し、それで良いと思える時があったが、今は、毎年でも仲間が恋しく会えることが楽しみである。

我々の昭和34年卒業生同期会は、速水と本田さんが幹事役となり、多くの仲間を募ることにしている。

私は、この二人のアシスタントとして協力し、そして良き仲間たちとの出会いを期待したい。

時計

メガネ

宝石



ジョリボール

下條

川崎市川崎区大島上町18番4号（横浜銀行大島支店前）

TEL. 044-322-5271

FAX. 044-355-4501

(昭和19卒 下條秀男)

一年間の抱負

生徒会会長

(O2B) 岡田 聖臣



11月16日の生徒会役員選挙で、平成7年度の生徒会会長に選ばれました普通科2年生の岡田聖臣です。

私は今まで生徒会活動をやったことはありません。しかし、生徒会をより良くしていこうという意欲は、誰にも負けないつもりです。

これからの一年間、生徒会会長として様々なことに対して取り組み、努力して行かなければならないと思います。そのためには先輩方のアドバイスを受け、生徒会の役員たちとも力を合せて成功をおさめていかなければいけないと思っています。その中で、思わぬ失敗をしてしまうこともあるかもしれません。しかし、それも自分自身に対するプラスになるようにしていきたいと思っています。

4月の新入生歓迎会に始まり、リーダー研修会、そして2学期になっての体育祭や東実祭など、忙しくなっていく中で、私は少しでも仕事に慣れ、努力していこうと思っています。何をどのように努力し、何を覚えなくて

はならないのか、ということが私の目標だと思います。そして今後、私の実力を試す手始めとなるのは「三年生を送る会」だと思っています。今まで東京実業高校を背負い、大いに発展させてきた大変偉大な三年生を送っていくわけですから、私の実力を大いに試すことができると思っています。「試す」というよりも、ベストを尽くしていかなければならないと思っています。そして、卒業されていく三年生が私たち後輩に任せていけるというような気持ちにさせるような「三年生を送る会」にしたいと思います。また、東京実業高校で過ごしてきた三年間が、辛い事もあったが、しかしとても充実した時であったと思ってもらえるような会にもしたいと思います。

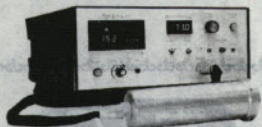
このような決意を胸に、これから頑張っていきます。いろいろなことに取り組み、そのひとつひとつに力を注ぎ、その中で自分自身に自信をつけていこうと思っています。

この一年間で私が生徒会会長としての役目を果たしていくためには、生徒会役員をはじめとする生徒全員、そして今年卒業される三年生や、同窓会のみなさんの協力がなければ何も成立しません。

一年間、頑張っていこうという気持ちはとても強いと思います。同窓会の皆様のご声援も、ぜひよろしくお願いいたします。

負荷トルク計

軽いトルク
MODEL PT-1920/30



- * 微小トルクフルスケール 10g・cm(0.01g・cm分解能)
- * 10g・cm~100kg・cm迄20種類のセンサー
- * トルクリミッター内蔵
- * 起動トルク測定可能、アナログ出力付
- * 駆動モーター内蔵、ハンディ型センサー
- * あらゆる姿勢で測定可能、使い易さ抜群
- * パソコン処理でデータ表示可能、オプション豊富

ダイナミックトルク計(回転体のトルク)
MODEL PT-2300



- * 50g・cm~240kg・cm迄10種類のセンサー
- * 回転数 6,000~30,000 rpm フルスケール
- * パソコン処理でデータ表示各種可能

無電源ブレーキ(パーマトルク)

- * 5g・cm~13kg・cm迄5種類、1,800~3,600 rpm
- * 1.2kg・cm~63kg・cm迄3種類、1,800 rpm

株式会社 **プロテック**

〒228 神奈川県相模原市麻溝台8丁目4番地3号
TEL.0427-41-7690 FAX.0427-48-2145

代表取締役
天 野 昇
(昭36卒)

在校生作文

「人類のあやまち」

普通科1年 金野 和寿



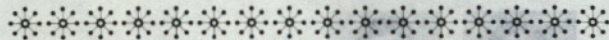
私たち人間は、地球上でいちばん賢い生きものであると言われる。なぜだろう？。生きものの中では比較的新しい時代に誕生したのに、なぜこんなにも賢くなれたのだろうか。ゴキブリなどは恐竜が存在していた時代からいたのに、なぜ進化していないのだろうか？ 考えれば不思議である。

今後、我々人間の時代はいつまで続くのであろうか。おそらく、そうだろう。たしかきものかもしれ現代の人間は馬しているように人間は地球の大きが1000年たらずしている。しか地球の環境を悪
長くは続かないに人間は賢い生ない。しかし、鹿なことばかり思えてならない。切な資源をわずで使いきろうとも、その資源で化させていると
思うと、実に馬鹿馬鹿しいと思えてならない。



例えば、森林の伐採で酸素と二酸化炭素の占める割合がある。そのために地球の温暖化につながり、オゾン層の破壊にもつながってくるのである。全人間がそうだとはいえないが、しかし、人間はその生き方を間違えている者が多すぎる。

人間の行為が地球に与えているダメージは計り知れない。21世紀には、人間も自分のことばかりでなく、地球全体のことも見てほしいと思う。



田島 研次郎 8=1

介辞事録会窓同録更手る如平

「雨」

普通科2年 伊藤 邦昭



雨の降るシステムは知っている。いや、知っているつもりだ。寒気流と暖気流とが衝突し、その温度差や気圧の差によって大気中の水蒸気が液体の水となり、この地上に落ちてくる。結晶の雪となつて落ちてくる場合もある。それはともかくとして、雨はいやだ。どうして降るのかを知らずして降るのかと思うこともしくは行事の時、私は雨男なのだろうかと思う。また反対に、いやな予定の時には雨になってほしいと願うが、そんな時にかぎって雨が降ることはまずない。そんな時、自分は晴れ男ではないか、とも思うのだろうか。



冷静になり、確率で考えてみれば、そんなことはないのかもしれない。

空を見上げると、今日も雨が降りそうだ。

民間車検場

東京陸運局長指定第2-637号

各メーカー・新車・中古車・販売・車検・钣金・塗装
☆事故についてのご相談承ります☆

モリタ自動車

〒230 横浜市鶴見区市場西中町4-17

☎ 521-4521(代)

FAX. 504-5676

大東京火災海上保険株式会社代理店

代表取締役 森田 洋司 (昭41・M卒)

スポーツのことなら!!

シロカネ 白銀スポーツ

(昭38) 土曜コニフォーム・スポーツ用具・用品・施設・工事一般
(昭39) 人呼 カップ・トロフィー・賞品・その他スポーツの事なら受承ります。

〒143 東京都大田区中央8-29-7 (昭37卒・白銀正明)
TEL. (03) 3754-8679 FAX. (03) 3754-4845

(昭42) 英字共
(昭43) 宮口由栄

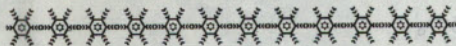
平成6年度新同窓会幹事紹介

平成6年度卒業の科組別同窓会新幹事を、ご紹介いたします。

(担任) (新幹事)

- MA 村上 先生……伊藤慎太郎・増田 大祐
- MB 日比野 先生……野崎 善功・松田健太郎
- MC 横田 先生……皆川 剛士・山宮 吉一
- MD 千田 先生……本庄 康之・元橋 一郎
- EA 山下 先生……石塚 大輔・川岸 真吾
- EB 須賀 先生……寺田 真・矢野 拓哉
- CA 鈴木(政)先生……秋森 弘行・市川 良樹
- CB 田中(新)先生……桜井 邦光・田中 秀明
- CC 高橋 先生……大孝 徳義・打田 敏誉
- CD 小畑 先生……佐藤 英和・鈴木 貴幸
- CE 有田 先生……古徳 亨治・佐々木春雄
- OA 知念 先生……和泉 秀則・児玉 哉
- OB 岡田 先生……金藤雄一郎・森 和紀
- OC 三山 先生……笠井 洋岐・平野 亮二

(事務局・米田)



「フォトクイズ」①

正解表

第5号で応募しました決果、全問正解者がおりませんが、以下正解写真を発表いたします。

- | | | |
|---|---|----------------|
|  |  | A=9 第16期 青木 茂夫 |
|  |  | B=5 第17期 村松 浜代 |
|  |  | C=7 第19期 三橋 金久 |
|  |  | D=10 第22期 井上 実 |
|  |  | E=1 第29期 眞輪 弘数 |
|  |  | F=4 第29期 渡辺 正信 |
|  |  | G=2 第35期 高橋 洋太 |
|  |  | H=6 第36期 天野 昇 |
|  |  | I=8 第39期 黒田 芳彦 |
|  |  | J=3 第42期 白田 佳彦 |

- 編集委員長 白田佳彦(42期)
- 編集委員 遠藤孝一(22期)
- 川名重士(35期)
- 多田和人(39期)
- 滝口房枝(41期)
- 細井守英(54期)
- 米田仁昌(学校)



◆第17回神奈川名菓展

最優秀賞

横濱西洋館

株式会社 アルベリ

代表取締役社長 山本 徳太郎 (昭23卒)

本店 横浜市鶴見区豊岡町7-14

TEL 581-5441



事務局だより

昨年の定期総会で役員が改選され、新役員で同窓会が動き始めました。平均年齢もグーと若くなり、より活動も活性化される事と思います。

この会報も5才を過ぎ6才になります。「見易く、親しまれる会報」を目指して編集委員一同努めております。この欄は、事務局よりのお知らせと、願等を記載します。よくご覧頂き、皆さんで同窓会の環を大きくしましょう。

◎お知らせ

平成7年度も下記の通り三大行事を行いますので、ご参加下さい。

① 定期総会

日程：平成7年6月下旬 土又は日曜日

会場：未定（昨年は母校小ホール）

総会後の懇親会費：未定（昨年は¥3,000）

② 懇親旅行

日程：9月上旬 土・日曜日 1泊2日

行先：未定（昨年は山梨トロン）

費用：未定（昨年は¥20,000・交通費込）

母校前よりマイクロバス送迎、ブドウ狩り、パーベキュー等付

③ 有志新年会

日程：平成8年1月27日(土)6時

会場：未定（昨年は川崎ステーションホール）

会費：未定（昨年は¥10,000）

上記の行事には、卒業生（同窓会員）は、誰でも参加出来ます。お友達を誘って、グループで、クラス会としてご参加下さい。詳細案内書は全員には発送できませんので、希望者はお申出下さい。案内書を送付します。

★会員名簿について

平成4年11月に第四版「同窓会会員名簿」が出来ています。ご希望される方には下記の要領でお届けします。

記

①学校に取りに来られる方

事前にお電話（03-3732-4481）を入れてから、ご来校下さい。平日9:00AM～4:00PM 土曜12:30PM 代金1冊¥2,500

②郵送希望される方

電話（上記の番号）がハガキで申込み下さい。代金は送料込で¥3,000（小額小切手が現金書留で）
申込先：〒144 大田区西蒲田8-18-1 東京実業同窓会

★終身会費の納入について

本会の活動をより活発にする為にも終身会費の納入にご協力下さい。納入された方には、この同窓会報をお送り致します。納入方法は全国郵便局：00160-0-56316 東京実業高校・同窓会宛 金額：¥10,000但し平成2年以降の卒業生は卒業時に、卒業記念会費の中に含まれて納入されておりますので納入されなくても結構です。

★「同窓会報」原稿募集について

この会報は、卒業生の機関紙です。卒業生は誰でも、何時でも投稿出来ます。適時に掲載致します。自営されている方、営業関係の仕事をしている方、本誌広告欄をご利用下さい。希望される方は、事務局にお申込み下さい。申込書類一式を送付します。

★その他

①事務局にはFAXが入っております。番号は、3732-4456です。上記会報原稿等同窓会への便りを、お待ちしております。

②各期・各クラブ等での集会を催す時は「会報」（クラス会便り）を利用し、PRして下さい。又その集いの様子を写真等を添えて編集会にお送り下さい。この会報に記事としてお載せ致します。

③事務局より通知・連絡があった時は必ず期限内にお返事をお願いします。

④同窓会では、只今常任幹事の欠員が出ております。同窓会にご協力して下さる方(常任幹事)を募集しております。事務局迄ご一報下さい。

⑤住所等の変更のあった方は、クラスの幹事さん、同窓会事務局にも必ずご連絡下さい。以上

編集後記

平成6年の夏は、昨年と違って記録破りな猛暑で、水不足で深刻な地方もありましたが、皆様はお元気のことで存じます。ここに会報第6号をお届けします。

今回は在校生による、同窓会についてのQ&Aを掲載しましたが、これを参考にして学校と同窓会の和が益々広がっていくことを切に願っています。

本号は新しい編集委員で、皆さんに親しまれる会報を目指し、編集委員一同で取組みましたが、経験不足のためなかなかうまくいきませんでした。なお、当刊紙のためにご協力くださいました先生方はじめ、会員皆様方に早速拝眉の上、御礼申しあげるところでございますが、略儀ながら紙面をおかりして、御礼旁々ご挨拶申し上げます。
(記・多田)